事　業　報　告

令和６年度（2024年度）

【令和６年４月１日から令和７年３月31日まで】

社会福祉法人あけぼの事業福祉会

法 人 概 要

【法人の沿革】

1977年 4月	『社会福祉法人あけぼの事業福祉会』創設　理事長　安家茂美
	「豊中あけぼの保育園」長興寺南に開園（S52.3.31認可）園長　安家茂美
1987年 4月	「あけぼのベビーセンター」上野西に開園（S62.3.26認可）園長　安家周子
1988年12月	『社会福祉法人あけぼの事業福祉会』　理事長　安家周子就任
2000年 6月	豊中あけぼの保育園分園「あけぼのぶんぶん」曽根東町に開園　園長　安家周子
2001年 4月	「あけぼのぶんぶん」小規模保育園へ認可変更（H13.3.30認可）
2002年 4月	「あけぼのドロップス」上新田に開園（H14.3.29認可）園長　安家尚子
2005年 3月	『社会福祉法人あけぼの事業福祉会』　理事長　安家周一就任
2005年 4月	「あけぼのぽんぽこ保育園」西緑丘に開園（H17.3.31認可）園長　安家比呂志
2012年 3月	「豊中あけぼの保育園」城山町に移転
2015年 2月	「あけぼのぶんぶん」長興寺南に移転
2018年4月	「あけぼのベビーセンター」を「あけぼの風の森保育園」へ名称変更
2019年4月	「豊中あけぼの保育園」を幼保連携型認定こども園「豊中あけぼのこども園」へ認可変更
	「あけぼのドロップス」を幼保連携型認定こども園「認定こども園あけぼのドロップス」へ認可変更
	「あけぼのぽんぽこ保育園」を幼保連携型認定こども園「あけぼのぽんぽここども園」へ認可変更

【保育の方針】

保育理念：保育する上での根本的な考え

「今しかできないこと　今だからできること
しっかり看つめること　ギュッとハグすること
自分の興味を満喫させて遊ぶこと　思いっきりカラダを動かすこと
大人みんなで精一杯愛すること　大人も育つこと
私たちはこんな保育園を目指します」

保育目標：保育の具体的な目標

「すべての生活から健全な心身を育てる
すべての生活からよく考える力を育てる
すべての生活から愛情と自立心を育てる」

モットー：こどものあるべき姿　　「よくみる　よくきく　よくする」

スタッフポリシー：保育者としての原則

①こどもの安全が最優先されているか
②日々の生活が大切にされプログラムがこども側の論理に立っているか
③保護者に対して共感的態度で接しているか
④自分が人間として自立しているか
⑤自分が保育者として向上心があるか
⑥日々適切に報告、連絡、相談（ホウ、レン、ソウ）ができているか
⑦「もったいない」を大切にしよう
⑧自分を大切にし、周りの人を大切にする　（No２の役割とティームワーク）

【役員・評議員の状況】

理事６名・監事２名　任期：令和５年６月27日～令和６年度最終のものに関する定時評議員会の終結するとき

	役職	氏名	職業等
1	理事	安家　周一	学校法人あけぼの学園　理事長
2	理事	安家　力	あけぼのほりえこども園　園長
3	理事	片山　雄基	社会福祉法人種の会　理事長
4	理事	中橋　美穂	大阪教育大学　教授
5	理事	三倉　敏浩	あけぼのぽんぽここども園　園長
6	理事	水谷　豊三	学校法人成城学園　理事長
1	監事	上保　小太郎	元法人事務長
2	監事	河端　秀雄	元豊中市職員

評議員７名　任期：令和３年６月29日～令和６年度最終のものに関する定時評議員会の終結するとき

	役職	氏名	職業等
1	評議員	安達　譲	学校法人ひじり学園　理事長
2	評議員	北島　孝通	庄内こどもの杜幼稚園　園長
3	評議員	辰巳　正信	学校法人たつみ学園　理事長
4	評議員	得　喜成	社会福祉法人愛成会　理事長
5	評議員	秦　賢志	学校法人小寺学園　理事長
6	評議員	濱名　浩	学校法人あけぼの学院　理事長
7	評議員	村野　光子	アトリオみなみおかこども園　園長

【理事会・評議員会の開催状況】

開催年月日	理事	監事	評議員	決議事項
2024年6月10日 理事会	5	2		○令和５年度事業報告及び決算報告について ○ぽんぽこ事業用定期借地権設定契約について ○評議員会の開催日程及び議題(決算報告、社会福祉充実計画)について ○その他について
2024年6月25日 評議員会	3		5	○令和５年度決算報告について ○その他について
2025年3月19日 理事会	6	2		○施設長人事について ○令和６年度補正予算について ○令和７年度事業計画及び当初予算について ○各種規程(就業規則、給与規程、経理規程)の改定について ○評議員会の開催日程及び議題(補正予算、事業計画及び当初予算、定款変更)について ○その他について
2025年3月27日 評議員会	3		4	○令和６年度補正予算について ○令和７年度事業計画及び当初予算について ○定款変更について ○その他について

【社会福祉法人あけぼの事業福祉会　全体の概要】　　**理事長**：安家 周一

当法人は、子どもの健やかな成長と保護者自身の子育てによる育ちを保証する運営に注力した「子どもたちの命と育ちが護られ、保護者が子育ての喜びを感じ、職員が仕事に誇りを持てること」を使命として 2024 年度事業に取り組むことができた。

各施設とも、おおむね定員を充足し、健全な運営が実行できたものの、施設によっては新年度当初の 0 歳児の不足が発生し、よって単価の高い園児の減で収入減が発生する。育休制度が徐々に整い、育休の取得が長くなり、1 歳児入園にトレンドが変化しつつある。園生活の魅力や子どもの育ちの共有、育児の伴奏者として、園を信頼していただけるよう力を合わせたい。

職員の育児休業の取得が増え、勢い育児休暇後の職員の働き方が時間短縮となったり、看護休暇の取得もあったりで、シフトを保つことに困難を感じた施設もある。育児が女性に偏る傾向が我が国にあることは事実であるが、父親の育休取得率を上げてもらい、女性の負担が軽減されるよう働きかけたい。

様々な園内研修や打ち合わせ、今年度は幼児が在籍する３園幹部のミーティングなどに取り組んだ。縦割り異年齢保育の意義や保育の在り方など保育アドヴァイザーの安家尚子の指導の下、新たなる気づきが生まれるなど、一歩前進が見られた。

〇各施設共通の具体的な取り組み

Ⅰ〕園長主任会議の開催

毎月、園長/主任会議を実施、園長会では職員の質向上、ティームビルディング、給与や処遇、勤務体制の整備、人事案件などを中心に協議を行った

Ⅱ〕安全な食事の提供と諸物価値上がりについて

ここ数年、安全な食材の仕入れや共通メニューによって、食の面が大きく前進した。しかし、諸物価高騰のあおりを受け、特に主食であるコメの値上がりに頭を痛めた。年間 11 トンに及ぶ消費量の全体を担っていただく能勢の米農家からの申し出を受け、キロ当たり数百円の値上げを受け入れることになり、次年度以降も価格の交渉が必須である。

Ⅲ〕働き方改革

各園働き方改革リーダーを選出し、定期的に話し合いや現状報告を実行し、2024 年度は勤務時間の適切な管理を実施した。各施設とも超過勤務手当の発生は微々たるものであり、計画的な勤務時間の調整が可能となっている。現状から仕事の質を落とさず、環境の整備や保育の準備不足にならないような職員の意識醸成が課題となる。

Ⅳ〕人材の確保

今年度から採用試験を学校法人と分けて行っている。各施設の園長や主任は土曜日等に行われている就職フェア―などに参加し、人材確保に努力した。イベントで知り合った学生を園見学に誘い、その後良質な学生にアルバイトを勧めるなど、採用につながるような努力を行っていた。

Ⅴ〕事務員の資質向上

ここ数年、事務長多田元太が事務員の資質向上の取り組みを実施し、日常業務に加え、全体の金銭マネージメントや、予算の立て方、執行の精度などが向上しつつあり、各施設とも改築資金の積み立ても計画通り進んでいる。

以上

各 施 設 報 告

【豊中あけぼのこども園】　園長：三倉 敏浩

所在地 ： 〒561-0803　豊中市城山町１丁目２番25号
連絡先 ： TEL/06-6863-7050　FAX/06-6863-1260　E-mail/toyonaka_akebono@akebono.ed.jp

園児数：

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
1歳児	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
2歳児	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
3歳児	21	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
4歳児	21	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
5歳児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192
合計	74	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	960

職員数：

職種	4/1				3/31			
	正職員	契約職員（常勤換算）	派遣職員（常勤換算）	合計（常勤換算計）	正職員	契約職員（常勤換算）	派遣職員（常勤換算）	合計（常勤換算計）
園長	1			1	1			1
主幹保育教諭	1			1	1			1
保育教諭	12	5 (2.9)		17 (14.9)	12	5 (2.9)		17 (14.9)
保育補助		5 (1.3)		5 (1.3)		5 (1.3)		5 (1.3)
栄養士/調理員	2	2 (0.2)		4 (2.2)	2	2 (0.2)		4 (2.2)
看護師	1			1	1			1
事務員		1 (0.8)		1 (0.8)		1 (0.8)		1 (0.8)
その他		0		0		3 (0.7)		3 (0.7)
計	17	13 (5.2)		30 (22.2)	17	16 (5.9)		33 (22.9)

職員の勤続年数：

1年未満		4年以上5年未満	1	8年以上9年未満	2	12年以上13年未満	1	20年以上	2
1年以上2年未満		5年以上6年未満	2	9年以上10年未満	2	13年以上14年未満		常勤職員の平均	
2年以上3年未満	2	6年以上7年未満	1	10年以上11年未満	1	14年以上15年未満			
3年以上4年未満	3	7年以上8年未満		11年以上12年未満	1	15年以上20年未満	2	9年	

研修の受講状況：

○第15回幼児教育実践学会（４名）　○キャリアアップ研修（13名）

本年度重点的に取り組んだ目標・計画と報告・継続課題：

目標・計画	具体的な取組方法
①「物的環境」の再編成と「人的環境」の明確化へ（全クラス対象）	【計画】 ・2023 年度よりクラス数が増え、物的環境が分散された事に伴い、全クラスの環境を再編成・ベースアップする事が求められている。「環境整備用の予算（各 10 万円）」を保育材料費に計上し、各担任が主体的にクラスの環境作りを進めていけるようにする。 ・幼児クラスの 2 人担任制の確立に続き、今年度より辞令でも明確にフリーを各乳児クラスの「副担任」として位置づけ、分厚い保育支援とノンコンタクトタイム確立を図る人的環境を充実させる。
	【報告】 ・計画通り各クラスに 10 万円の予算を配分し、玩具を中心に保育室の環境整備・アップデートを行うことができた。しかし、「担任が主体的に進める」という点では、予算の使用を躊躇し、購入が年度末に集中するなど、当初のねらい通りに進まなかったクラスもあった。職員一人ひとりが当事者意識をもって計画的に取り組めるよう、引き続き意識改革が必要である。 ・乳児クラスでも正式に「副担任」を位置づけたことで、保育体制の強化が図られノンコンタクトタイムを安定して確保することができた。ただし、年度の後半になると副担任の積極的な関与が求められる場面が減少する傾向が見られたため、その活用方法については今後も継続的な検討が必要である。
②学びの発信による保育のアップデート（学会発表）	【計画】 ・2012 年より実施している幼児クラスの「縦割り保育」。2017 年に取り組みを学会で発表したが、それ以降も実践を重ね他園からの見学者や大学研究者からの聞き取りも増えている。この度、主幹と幼児クラス経験者を中心に 12 年間 4 サイクルに及ぶ縦割り保育を取り纏め「第 15 回幼児教育実践学会」にてポスター発表を行ない、自園の取り組みの振り返りや客観的評価をフィードバックして、更なる保育のアップデートへと繋げる。
	【報告】 ・主幹及び幼児クラス経験者であるチーフ 2 名に加え、大阪総合保育大学学長の大方美香先生を助言者としてサポートを頂き「第 15 回幼児教育実践学会」にてポスター発表を行った。今回、現場の職員が発表者として参加したことで、自園の保育について語る機会を持つとともに、それぞれの意識向上にも繋がった。また、対外的にも一定の評価を得ることができ、縦割り保育の持つメリットを改めて再認識する機会となった。

地域貢献活動：

活動名	活動場所	活動内容
園庭開放 『ひなたぼっこ園庭』	豊中あけぼのこども園園庭	毎週月曜日に園庭を開放し、地域の子どもとその保護者が安心して遊べる場を提供した
子育て支援イベント 『ひなたぼっこ』	あけぼのぶんぶん 3F ホール	毎週火曜日にあけぼのぶんぶんと共催で、地域の子育て世帯に向けた親子遊びの紹介、遊び場の提供、交流の促進、育児相談等を行った。（第 2 週のみ木曜日に豊島公園にて「ひなたぼっこ広場」を実施した）

苦情解決状況：

項目	件数	主な状況
事故	9	○押し車を押していて転倒し前上歯打撲　○木箱で額を打ち裂傷 ○階段を下りていて転倒し右眼瞼を裂傷 ○ヒューム管から降りようとした際に他児と接触して着地、左脛骨骨折 ○他児の手が左目に当たり左角膜びらん　○箸を耳に入れられ外耳挫創 ○丸太橋を渡っている際にバランスを崩して右足捻挫 ○木の積み木の木片が刺さり右中指挫創・右中指異物残留 ○ヒューム管に登ろうとした際に手が滑り口を打ち左下 BC 打撲
苦情･意見	9	○子ども同士のトラブルと怪我：5 件　○嘔吐処理で衣類が漂白 ○土曜日保育時の伝達の仕方の不手際　○入園直後の職員対応への不満 ○性的問題行動に関して
検証	○受診を検討するような事例については、必ず保護者に連絡報告をすることや事故原因を看護師・チーフを中心に検証し、全体会議にて周知する。 ○子ども同士のトラブルや怪我については発達上の姿である事も伝えていきつつ、保育室の環境を整えたり各家庭の間に園が入ったりして問題解決へと進めていく。 ○土曜日保育・入園直後の対応の件は、いずれも連携施設間での苦情であったので、それぞれの保護者への対応の仕方や伝え方など２園で押さえていく。 ○性的問題行動については問題が起こった際のフローを作成し、スクールカウンセラー（あけぼの幼稚園）に助言頂きながら看護師を中心として対応の仕方を取り纏めた。	

その他特記事項・報告事項

・本年度に取り組む施設･設備整備に挙げていた「空調機器パーツ交換（2 階設置全 4 台分）」は施行終了。
・大阪府共同募金会助成金事業の“共同募金施設整備費助成金制度”を利用し、「厨房食洗器」の入れ替えを行う。（891,000 円補助）
・予備費の残額によって実施判断予定だった「園庭デッキテラス設置工事」は、予算の確保が難しいと判断した為、次年度以降に先送りとなる。

【あけぼの風の森保育園】　　**園長**：武田　愛子

所在地　：　〒560-0011　豊中市上野西４丁目５番62号
連絡先　：　TEL/06-6857-2003　FAX/06-6857-2086　E-mail/akebono_kazenomori@akebono.ed.jp

園児数：

定員	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	9	4	5	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	99
1歳児	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	300
2歳児	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	312
合計	60	55	56	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	711

職員数：

職種	4/1				3/31			
	正職員	契約職員（常勤換算）	派遣職員（常勤換算）	合計（常勤換算）	正職員	契約職員（常勤換算）	派遣職員（常勤換算）	合計（常勤換算）
園長	1			1	1			1
主任	1			1	1			1
保育士	17	5 (2.7)	2 (1.6)	24 (4.3)	14	6 (4.2)	3 (2.5)	23 (6.7)
保育補助		2 (0.9)		2 (0.9)		3 (1.7)		3 (1.7)
栄養士/調理士	2	1 (0.2)		3 (0.2)	2	1 (0.4)		3 (0.4)
看護師			1	1			1	1
事務員		1		1		1		1
その他								
計	21	9 (3.8)	3 (1.6)	33 (26.4)	18	11 (6.3)	4 (2.5)	33 (26.8)

職員の勤続年数：

1年未満	2	5年以上6年未満	1	10年以上11年未満	0	15年以上20年未満	2
1年以上2年未満	3	6年以上7年未満	1	11年以上12年未満	0	20年以上	1
2年以上3年未満	2	7年以上8年未満	1	12年以上13年未満	0	常勤職員の平均	
3年以上4年未満	3	8年以上9年未満	1	13年以上14年未満	0		
4年以上5年未満	0	9年以上10年未満	0	14年以上15年未満	2	8　年	

研修の受講報告：

○ちゃいるどネット研修（7名）
○キャリアアップ研修（8名）
○冬期研修会参加（6名）

本年度重点的に取り組む目標・計画と具体的な取組方法・報告：

目標・計画	具体的な取組方法
① 保育室・共有スペースの 充実と環境の見直し	【計画】 ・昨年度行った公開保育や法人アドバイザ―研修を経て、乳児が主体的に遊びを見つけて遊ぶ事が出来る環境と玩具の見直しを行う。 ・園庭改革を昨年度より始めており、今年度は園庭に木の家を作る計画を進める。（予算を別途計上） ・絵本スペースを充実させ、子ども達や保護者の方にも利用して頂ける共有スペースを作る。
	【報告】 ・今年度は 3 回ある園内研修のうち 1 回はあけぼのぽんぽここども園、もう 1 回はあけぼのぶんぶんとの共催で実施し、自園内にとどまらない視野の拡張と実践的な見直し・改良が可能となった。加えて、冬期研修会の参加や他園への見学も行い、新たな学びに繋げることができた。 ・園庭には、4 月に「木の家」を設置し、自然物を用いたままごとあそびが豊かになり、予算余剰金で遊具用の倉庫を購入することができたので、2025 年度も引き続き園庭改革を進めていく予定。 ・絵本スペースはリニューアルにより「ゆったり過ごせる空間」となり、保育時間内に限らず、お迎え時の親子の時間としても活用されている。
② 子育て支援・地域支援	【計画】 ・ここ数年、子育て支援に力を注いできたことから園庭開放の利用者数が増えている。今年度より、一時保育事業を再開させるにあたりに更に地域の方に必要とされる存在になっていけるように子育て支援を広げていく。 ・保護者の方がホッとできる居場所作りとして、土曜日にクラス毎のクラス開放 DAY を作り、行事以外でも繋がりが持てる場所作りを提供していく事を計画している。
	【報告】 ・毎週行っている園庭開放のうち、第 4 火曜日はホールを開放し特別な企画を用意していたが、参加者数増加により会場の狭さが課題となったため、第３火曜を「ころころ＆よちよち時期」、第４火曜を「すたすた＆ぴょんぴょん時期」の子どもたちに分けて開催する形式に変更した。月齢が近いことで、ベビーマッサージや制作など活動内容の幅が広がり、地域の方の交流もより深まっていると感じた。 ・クラス毎の開放 DAY は当初の計画通りには実施できなかったが、第 3 土曜日のマルシェと園庭開放と連携して「風の森カフェ」を企画した。参加人数はあまり多くなかったが、時期や広報の方法を見直し来年度再実施に向けて検討を継続していく。

地域貢献活動報告：

活動名	活動場所	活動内容
園庭開放	あけぼの風の森保育園　園庭	第１・３・４・５火曜日・第３土曜日　１０：００～１１：００園庭を開放し、地域の子どもとその保護者が安心して遊べる場を提供した。第３・４火曜日には、季節に合わせた製作やお祭りなどの特別なイベントを企画した。
公園保育	上野西４丁目第２公園	第２火曜日に近隣の公園にて、近隣に住む子どもと保護者に遊びの提供を行い、その中で育児相談等を行った。
ﾏﾙｼｪ@KAZE	あけぼの風の森保育園　駐輪場（ホール）	第３土曜日９：３０～１１：００ あけぼのが契約している山里農園の野菜や納豆などの販売を行った。
BP１ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ	曽根東センター	第１子の赤ちゃんとお母さんが週４回連続で参加するプログラムとなっており、初めての子育ての大変さを共感したり情報交換したりする中で子育ての楽しさを共有しママ友としての繋がりの場所提供を行った。
一時保育事業	あけぼの風の森保育園	地域の子どもの一時保育として、基本９：００～１６：００の保育を行った。

苦情解決状況：

項目	件数	主な状況
事故	5	○送迎時の開門時に、園庭で遊んでいた１歳児が他の保護者と共に園外に出る。 ○他児の哺乳瓶で授乳してしまう。 ○中期食と後期食の誤提供があった。 ○室内玩具（キーハウス）に指を挟み出血する。 ○午睡後に両手をもち身体を起こした際に肘が抜ける。（当該児は以前にも家庭で同様の脱臼歴があり、配慮不足の事故となる。）
苦情・意見	1	○あけぼのぽんぽこども園への引き上げ転所について。（引き上げ転所と他園への転所申し込み時期が重なり、丁寧な説明不足が原因。）
検証		○ヒヤリハットの検証、振り返りを行い職員全体の問題として職員会議で周知共有する。 ○トラブルについては子どもの発達についての知識を保護者の方に伝え、保育者側の丁寧な説明や対応について再度抑える。 ○今後も再発防止に向けた研修と、保護者への適切な情報共有・信頼関係構築を継続して行っていく。

その他特記事項・報告事項：

・今年度より一時保育事業を開始した。軌道に乗るまでは、登録者数が少なく仕事の方の利用が大半を占めていたが、地域支援やインスタグラムなどの情報発信から登録者が増え始め、秋から冬にかけては毎日予約待ちが出るほど利用者数が増えた。一時保育利用で登園していた園児と地域支援で来られていた園児が2025年度の入園に繋がるケースが多かった。

【あけぼのぶんぶん】　　園長：山中　由貴子

所在地 ： 〒561-0874　豊中市長興寺南２丁目８番16号
連絡先 ： TEL/06-6867-0711　FAX/06-6867-0712　E-mail/akebono_bunbun@akebono.ed.jp

園児数：

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
1歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
2歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
3歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	540

職員数：

職種	4/1				3/31			
	正職員	契約職員（常勤換算）	派遣職員（常勤換算）	合計（常勤換算計）	正職員	契約職員（常勤換算）	派遣職員（常勤換算）	合計（常勤換算計）
園長	1			1	1			1
主任	1			1	1			1
保育士	12	7 (4.7)		19 (16.7)	12	7 (4.7)		19 (16.7)
保育補助		1 (0.4)		1 (0.4)		1 (0.4)		1 (0.4)
栄養士/調理員	2	1 (0.2)		3 (2.2)	2	1 (0.2)		3 (2.2)
看護師	1			1	1			1
事務員	1			1	1			1
その他		2 (0.1)		2 (0.1)		2 (0.1)		2 (0.1)
計	18	11 (5.4)		29 (23.4)	18	11 (5.4)		29 (23.4)

職員の勤続年数：

1年未満	5	4年以上5年未満	3	8年以上9年未満	0	12年以上13年未満	2	20年以上	2
1年以上2年未満	2	5年以上6年未満	1	9年以上10年未満	4	13年以上14年未満	0	常勤職員の平均	
2年以上3年未満	1	6年以上7年未満	1	10年以上11年未満	1	14年以上15年未満	1		
3年以上4年未満	1	7年以上8年未満	0	11年以上12年未満	1	15年以上20年未満	4	8年	

研修の受講状況：

〇ちゃいるどネット研修（3名）
〇キャリアアップ研修（10名）

本年度重点的に取り組んだ目標・計画と報告・継続課題：

目標・計画	具体的な取組方法
①乳児保育の質の向上と学び合う環境作り	【計画】 ・職員の入れ替わりがある為、乳児保育について話し合う時間を多く持ち、関わり方や環境、保育の考え方や意図等を共有していく。 又、学びを増やしていく為に他園の公開保育に参加したり、系列園の見学に行ったりできるように体制を整えていく。 ・評価環境スケールに基づいた研修の発表に向けて、保育の観察、考察を行っていき、学びを深めて保育の質を向上していく。
	【報告】 ・新年度最初の職員会議および園内研修において乳児保育の基本的なポイントを確認し、月毎のクラス打ち合わせや職員会議でも話し合う機会を設けたことで、振り返りや見直しが可能となり、保育の考え方や意図等の共有が出来た。 又、同じ乳児施設である風の森との合同園内研修を行ったこと、他園の公開保育への参加４回、系列園の見学４回を通して得られた学びを報告書で共有することで園全体の学びを増やすことが出来た。 ・評価環境スケールの『数・量・形等』についての研修発表を行うにあたって、学んだことや取り組んでいることを発表するクラスだけでなく、園全体で共有することで、環境の見直しや保育者の関わり方の意識改革が進み、保育の質の向上へと繋がった。
②時間内勤務の定着とリーダー育成	【計画】 ・２０２３年度、残業・持ち帰りをしない取り組みを本格的に行ったことで、職員の仕事の効率化への意識が高まった。又、法人で書類の見直しも行った為、そこから生み出せる時間を保育室や園内の環境作りも含めた保育の質の向上へ繋げていけるようにしていく。 ・時間内勤務を定着させていく為に、リーダーの役割として自分のことだけでなく、チームのマネジメントが出来るように振り返りを行ったり、リーダーで話し合いを行ってお互いに意識を高めていったりできるようにしていく。
	【報告】 ・仕事の効率化を目指す中で、書類に関する事務処理に時間を使うことが優先される傾向が強まり、保育室や園内の環境整備、掃除、手作り玩具の作成等が後回しになることがあり、業務のバランスに課題が残ることとなった。 ・一方で、クラス内の職員の仕事量や進捗状況を把握し、リーダー同士で必要な作業時間を共有・調整する体制が出来てきたことにより、時間を有効に活用しようとするマネジメント意識が高まってきている。

地域貢献活動：

活動名	活動場所	活動内容
子育て支援イベント『ぶんぶんルーム』	あけぼのぶんぶん 3F ホール	地域の第１子で０歳の母親に向けた３回コースの子育て支援。子育ての基礎知識の学び合い、遊びの紹介、離乳食の紹介、情報交換、育児相談を３クール行った。
子育て支援イベント『ひなたぼっこ』	あけぼのぶんぶん 3F ホール	豊中あけぼのこども園と共催で、地域の０・１歳児に向けた親子遊びの紹介、遊び場の提供、交流の促進、育児相談等をおこなった。（月３日）

子育て支援イベント 『ひなたぼっこ広場』	豊島公園	月１回豊中あけぼのこども園と共催で、地域の１歳～３歳未満児を対象に遊びの紹介、提供、制作、交流の促進等を行った。
子育て支援イベント 『ぶんぶんもぐもぐ』	あけぼのぶんぶん１F 保育室	地域の０歳児を子育て中の保護者を対象に離乳食の紹介や試食を２回行った。

苦情解決状況：

項目	件数	主な状況
事故	6	○降園時、母に引き渡し後にふざけて廊下や階段を走り回っていて、転倒し階段段差で口元を打つ。上唇小帯が切れ、歯が動揺。 ○水道前で転倒し、シンクの枠で顎を打つ。上唇、歯茎から出血、歯が動揺。 ○園庭で転倒し、ポンプの土台で左眉下を打つ。1.3cm 程裂傷。 ○豊中あけぼのこども園の園庭で押し車の上に箱を乗せ、その上に乗っている時にバランスを崩して転倒し、後頭部を切り株の縁で打つ。７mm 程裂傷。 ○保育室内でテンションが上がって、ジャンプしたり走ったりしている時に滑って転倒し、顎を打つ。下唇から出血、歯が動揺。 ○園庭で走っていてジムの前で転倒し、手摺で左眼を打つ。眼の赤みと周囲にすり傷。
苦情･意見	2	○他児に噛まれて傷がついたことに対しての説明不足 ○朝の母子分離時の他クラス担任の対応について
検証	○お迎え後は、速やかに降園してもらう様に保護者に周知する。降園準備が長引いているようであれば、気にかけていく。 ○水道前は、床が濡れていないか確認。水道付近で遊ぶ子どもがいたら側に付くか遊びコーナーへ誘い掛ける。 ○ポンプ周りにある玩具を細目に片付ける。土台の角をガードする。 ○幼児との関わり、遊びの様子を把握し、子どもの行動予測を行っていく。 ○子どもの行動予測を行い、声掛けを行っていく。 ○保育者のポジション確認、園庭にいる人数が多すぎないか確認する。 ○保護者への状況説明の仕方の抑えを行う。 ○保護者への声掛けや対応について、又、子どもの人権・不適切保育について会議で話し合いを行い、常に意識していけるように職員同士で声を掛け合っていく。	

その他特記事項・報告事項

・西側フェンスの補強工事、空調洗浄を行った。
・0歳対象の地域支援を強化することで、参加者が０歳児の入園と繋がった。

【認定こども園 あけぼのドロップス】　　**園長：**多田　悦子

所在地 ： 〒560-0085　豊中市上新田４丁18目番３号
連絡先 ： TEL/06-6155-1101　FAX/06-6155-1102　E-mail/akebono_drops@akebono.ed.jp

園児数

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	6	3	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	69
1歳児	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
2歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
3歳児	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156
4歳児	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156
5歳児	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156
合計	67	64	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	801

職員数

職種	4/1				3/31			
	正職員	契約職員（常勤換算）	派遣職員（常勤換算）	合計（常勤換算計）	正職員	契約職員（常勤換算）	派遣職員（常勤換算）	合計（常勤換算計）
園長	1			1	1			1
主幹保育教諭	1			1	1			1
保育教諭	12	7 (4.9)		19 (16.9)	12	7 (4.9)	1 (0.8)	20 (17.7)
保育補助		3 (0.9)		3 (0.9)		2 (0.8)		2 (0.8)
栄養士/調理員	2	1 (0.3)		3 (2.3)	2	1 (0.3)	1 (1)	4 (3.3)
看護師			1 (0.8)	1 (0.8)		1 (1)		1 (1)
事務員	1			1	1			1
その他		2 (0.2)		2 (0.2)		1 (0.2)		1 (0.2)
計	17	13 (6.3)	1 (0.8)	31 (24.1)	17	12 (7.2)	2 (1.8)	31 (26)

職員の勤続年数

1年未満	2	4年以上5年未満	3	8年以上9年未満		12年以上13年未満		20年以上	1
1年以上2年未満	2	5年以上6年未満	1	9年以上10年未満	2	13年以上14年未満		常勤職員の平均	
2年以上3年未満		6年以上7年未満	3	10年以上11年未満	1	14年以上15年未満			
3年以上4年未満		7年以上8年未満	1	11年以上12年未満		15年以上20年未満	3	10年	

研修の受講状況

〇第１５回幼児教育実践学会（２名）〇ちゃいるどネット研修（２名）〇キャリアアップ研修（12名）

本年度重点的に取り組む目標・計画と具体的な取組方法

目標・計画	具体的な取組方法
①保育観の基盤作り	【計画】 ・幼児クラスでは、２人担任制やアクティブラーニング導入 2 年目となるので、法人内の他の幼児施設や外部研修からの学びも取り入れながら、前年度の振り返りを基にドロップスにおける幼児教育の基盤作りを行う。 ・乳児クラスでは、育児担当制での丁寧な保育から幼児期への連続性を持った育ちについての学びを深め、育ちの見通しを持って保育を行う事を目指す。 ・どの職員がどのクラス担任を担う事になっても、法人の理念を基にドロップスにおける保育のねらいを明確に理解し、戸惑いなく保育に入れるように保育観の基盤づくりを行う。
	【報告】 ・他の幼児施設への見学 6 回や園内研修 4 回を通して、保育や行事の構成を見直すことができた。また、幼児担任の変更が少なかったことで、前年度の経験を活かした改善を徐々に進めることでき、子どもが主体的に生活できる保育を目指す幼児教育の基盤整理にも繋がった。 ・育児担当制を重視しつつ、子どもの育ちを見通す視点を持った指導に取り組んだが、職員間が学び合う具体的な場を十分に設けることができず、クラスごとの保育が中心となり、乳児から幼児への連続性に課題が残った。 ・園の理念に基づく保育を目指し、2 回の園内公開保育や 4 回の園内研修を通じて意見交換の機会を設けた。しかし、継続的な振り返りの場が十分に確保できず、保育観の基盤を作るには至らなかった。
②勤務時間の適切な管理	【計画】 ・数年来取り組んできた働き方改革をベースにいよいよ勤務時間の管理に徹底的に取り組む年度になる。その為、職員全体で仕事の効率化や業務のマネジメントに取り組む。 ・保育観の基盤づくりと勤務時間の適切な管理のバランスを心掛け、持続可能な保育体制や業務分担を整備していく。 ・勤務時間内で業務を終える事を前提とし、職員が自分の時間の充実を図り豊かな人間性を持った保育教諭が増えるようにする。
	【報告】 ・勤務時間の適正管理を始めた当初は職員に戸惑いも見られたが、法人の勤務時間に対する方針を丁寧に説明し、チーフを中心にマネジメントを行うことで、勤務時間内に業務を終える意識が徐々に定着してきた。 ・定時退勤を意識した働き方を進める中で、保育観を語り合う時間や職員間のコミュニケーションが減るなどの課題も見えてきた。 ・職員同士が声を掛け合いながら業務を進めることで、勤務時間内に業務を終える職員もいた。しかし、幼児クラスでは書類作成に時間がかかる時期もあり、業務分担や書類の内容・形式の見直しなどをさらに進めていく必要がある。

地域貢献活動

活動名	活動場所	活動内容
園庭開放	認定こども園 あけぼのドロップス	毎週火曜日に園庭を開放し、地域の子どもとその保護者が安心して遊べる場を提供した。 今年度より月に１回あそびの提供を行い、在園児との交流も持つ機会となった。
子育て支援イベント 『ドロップスデー』	上新田府営住宅内 集会所	こども園ならではの玩具やあそびを提供したり親子で季節の製作や関わりあそびを楽しんだりした。また、保護者同士の交流の促進を図り育児相談なども行った。
親子交流イベント 『ドロップスカフェ』	上新田府営住宅内 一時保育室	地域で子育てされている保護者の方同士で交流を持ち、コミュニティを築いていただいた。 今年度より保育教諭や看護師が育児相談や面談を行ったり、栄養士による試食会を開催したりした。

苦情解決状況

項目	件数	主な状況
事故	11	○顔を机にぶつけ上唇小帯を切る ○転んで玩具の金具に瞼をぶつけ裂傷 ○手を滑らせて机に口を打ち付け前歯を亜脱臼 ○他児とぶつかり前歯の亜脱臼２件 ○食事中に魚の骨が喉に刺さる２件 ○運んでいた椅子を足に落とし打撲 ○転がったボールを拾おうとして転倒し、左腕の骨折 ○段差の上を歩いていて足を滑らせ顎を打ち、２針縫合 ○ハンモックに乗っている時に他児が大きく揺らし後頭部から転落。 嘔吐したため受診。
苦情・意見	2	○園外保育中に、公園の傾斜で滑って右ほほを怪我した。 ○園で胃腸炎が流行った時に保健所より検体提出の依頼があったが、保護者の承諾を取る前に園で検便を行っていた。
検証	○園外での活動は、安全性や活動場所の適正を保育者が事前に確認した上で実施する。また、あそびのねらいや意図についても保護者に丁寧に説明し、理解が得られるように努める。 ○胃腸炎の原因を早急に特定したいと考え、本来の保護者の同意を得てから検体を取るという既定の手順を踏まずに実施した。今後は、保護者に事前に説明を行い、同意書を得てから検体を取るという既定の手順を遵守する。	

その他特記事項・報告事項

・老朽化したガス給湯器２台の交換工事を実施した。

・災害時の備えとして、園庭にスピーカーを増設した。

・エアコンの定期的な内部清掃を行った。

・以前から破損していた換気扇（４台）の取り換え工事を行った。

・２階テラスの手摺りの老朽化に伴い、改修工事を行った。

【あけぼのぽんぽここども園】　　**園長**：藤田　勲

所在地　：　〒560-0005　豊中市西緑丘２丁目４番１号
連絡先　：　TEL/06-6857-0003　FAX/06-6857-0066　E-mail/akebono_ponpoko@akebono.ed.jp

園児数：

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	18	14	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	179
1歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	19	19	238
2歳児	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
3歳児	29	32	32	32	32	32	32	32	32	31	31	31	31	380
4歳児	29	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	384
5歳児	30	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	384
合計	150	154	155	155	155	155	155	155	155	154	154	153	153	1,853

職員数：

職種	4/1				3/31			
	正職員	契約職員（常勤換算）	派遣職員（常勤換算）	合計（常勤換算計）	正職員	契約職員（常勤換算）	派遣職員（常勤換算）	合計（常勤換算計）
園長	1			1	1			1
主幹保育教諭	1			1	1			1
保育教諭	27	6 (5.4)	1	34 (33.4)	26	6 (5.4)	1	33 (32.4)
保育補助		5 (2.7)	1 (0.6)	6 (3.3)		5 (2.7)	1 (0.6)	6 (3.3)
栄養士/調理員	2	4 (1.9)		6 (3.9)	2	4 (1.9)		6 (3.9)
看護師	1			1	1			1
事務員		1		1		1		1
その他		4 (1)	1 (0.3)	5 (1.3)		4 (1.6)	1 (0.3)	5 (1.9)
計	32	20 (12)	3 (1.9)	55 (45.9)	31	20 (12.6)	3 (1.9)	54 (45.5)

職員の勤続年数：

1年未満	4	4年以上5年未満	3	8年以上9年未満	5	12年以上13年未満	2	20年以上	1
1年以上2年未満	3	5年以上6年未満	2	9年以上10年未満	4	13年以上14年未満	2	常勤職員の平均	
2年以上3年未満	2	6年以上7年未満	1	10年以上11年未満	2	14年以上15年未満	0		
3年以上4年未満	3	7年以上8年未満	4	11年以上12年未満	0	15年以上20年未満	0	7年	

研修の受講状況：

○第15回幼児教育実践学会（2名）　○ちゃいるどネット研修（6名）
○キャリアアップ研修（18名）

本年度重点的に取り組んだ目標・計画と報告・継続課題：

目標・計画	具体的な取組方法
① 保育観の共有 学び合い高め合う 環境へ	【計画】 ・昨年度から行っている連携施設あけぼの風の森との人材交流や研修を継続していく。また、打ち合わせの在り方を見直し、保育を語る中で子どもの育ちや丁寧な関り、保育の考え方を共有できるようにしていく。また姉妹園への見学や他園の公開保育に職員が参加できるように体制を整える。 ・アドバイザーや講師を招いた保育観察会を企画し園の課題や強みを再確認する機会を設けていく。
	【報告】 ・今年度も昨年度に引き続き、連携施設との人材交流を継続し、互いの園に出向いて学び合う機会を年間５回設けた。実施後には振り返りシートを互いに共有し、気づきや学びを深めることができた。また、姉妹園への見学にも延べ４回出向き、保育環境や丁寧な育児行為について学ぶとともに、自園の保育内容の見直しにもつなげることができた。自園においては「ぽんぽこ ECEQ」を活用した保育観察を乳児クラス中心に実施し、撮影した動画の共有と振り返りを通して、主に子どもとの関わりや日課の在り方を見直す機会となった。加えて、アドバイザーである安家尚子先生を園にお招きし、当日の保育の様子を撮影・共有した上で助言をいただくなど、チーム全体の質の向上につながる取り組みを行った。
② 働き方の定着と 仕事の効率性と 質の向上	【計画】 ・働き方をここ数年法人で見直し、現場の職員の意識も変化しつつある。“残業しない”“持ち帰りをしない”という事だけが先行するのではなく、自分自身の仕事のマネジメント、チーフ・主任はチームの仕事のマネジメントを行い仕事効率が良くなる事で“生み出せるものはないか”、“より質を高める事はできないのか”という視点で定期的な振り返りを行っていく。また便利なツール（情報共有や情報整理等）を模索しソフト面でも効率化を目指していく。
	【報告】 ・新たなツールとして「Google Keep」を導入し、職員一人ひとりが自身の業務を可視化することで、個人レベルでの仕事のマネジメントが進んだ。また、チーフや主任はチーム全体の業務内容を把握し、時間の調整や、課題を抱える職員へのフォローを行うことができた。残業は突発的な保護者対応に限られるようになり、業務を勤務時間内に終えることが定着してきている。こうした業務の効率化により生まれた余力は、「乳児の育児行為の見直し」や「園庭改革プロジェクト」など、複数の職員が同時に関わるプラスアルファの取り組みに活用することができた。

地域貢献活動：

活動名	活動場所	活動内容
園庭開放	あけぼのぽんぽ ここども園園庭	基本毎日園庭を開放し、地域の子どもとその保護者が安心して遊べる場の提供をした
子育て支援 『ひよこちゃん少路』	あけぼのぽんぽ ここども園 ランチルーム	主任児童委員、民生委員が主催する子育て支援の場所提供。0歳～1歳児親子世帯に向けた親子遊びの紹介、遊び場の提供、交流の促進、育児相談等を行う
子育て支援 『ぽんぽこ広場』	あけぼのぽんぽ ここども園 ランチルーム	1歳～3歳児親子世帯に向けた親子遊びの紹介、あそび場の提供、交流の促進、育児相談等を行う 今年度年齢の幅を増やしたことで人数増

苦情解決状況：

項目	件数	主な状況
事故	18	○転倒による怪我(顎、足、口、顔)7件 ○玩具・遊具が当たり顔怪我5件　　○鼻の中に粘土を詰める ○園児同士で腕を引っ張り肘内障　2件 ○園児に左目付近を蹴られ怪我　○顔を引掻かれる ○椅子が足にあたり爪損傷
苦情･意見	3	○子どもの同士の怪我について ○子ども同士の関わりについて
検証	○転倒による怪我は避けられないが、転んだ先で二次災害とならないように園内の危険個所の安全チェックを行うと共に、ヒヤリハットで上がった内容から設備や職員が意識できるように進めていく。 ○怪我の伝達の仕方や危険行為に関しての職員間の意識の統一を行う。 ○年長児で性の興味を抱く園児への対応の共有。職員に対しての性教育に関する知識の共有と看護師による勉強会を行う。	

その他特記事項・報告事項

・今年度予定していた、『1F廊下新設工事』『足洗い場新設工事』を行う。
本館の築年数が20年、乳児棟が10年経過している事からメンテナンスや経年劣化による修繕を近年で計画をしている為資金計画を立て対応してく。